

東シナ海ブロック水産業情報

No. 122(2023年7月～9月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	○豊前海 【カキ養殖】 ・順調に経過。 【栽培関連】 ・「かくや装置」によるアサリ稚貝生産、「網袋」による干潟での保護・育成試験を実施中。 ・ガザミ、ヨシエビの中間育成→種苗放流を実施。	○有明 ●マカキ養殖 4月中旬以降、本養殖が開始されている。今年度、九州北部の梅雨期間は6月11日～6月28日と平年より短く、豪雨による海域の低塩分化があったものの、この時点ではカキの斃死は見られなかった。しかし、その後の高水温と産卵疲弊が原因と思われる斃死が見られている。 ●ノリ養殖 今年度の採苗日は、9月29日の有明3県漁連会議、10月5日の漁協運営委員長・支所長会議を経て10月28日(10月27日18時出港)に決定した。また、現在、資器材の準備、当センターや漁協本所による漁期前講習会が行われている。 ○玄海 ・アオナマコ: 72.0万個体配布済み ・アカナマコ: 37.4万個体配布済み ・9月よりアカウニ幼生飼育開始		ブリ: ノカルジア症、ミコバクテリア症、溶血性細菌性黄疸症、レンサ球菌症(Ⅱ型)、類結節症、白点病、ペネデニア症、アミルウージニウム症、性血吸虫症 カンパチ: レンサ球菌症(Ⅱ型)、ペネデニア症 マダイ: マダイイリドウイルス病、ビブリオ病、エドワジエラ症、ビバギナ症、エビテリオシスチス症 シマアジ: マダイイリドウイルス病、レンサ球菌症(Ⅱ型、Ⅲ型)、ノカルジア症 トラフグ: 口白症、ビブリオ病、滑走細菌症、粘液胞子虫性ヤセ病、白点病、アミルウージニウム症、ネオペネデニア症 カワハギ: レンサ球菌症(Ⅰ型) キジハタ: 白点病 アイゴ: レンサ球菌症(Ⅰ型、Ⅱ型)

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
八代海において、6月中旬からChattonella antiqua、6月下旬からCochlodinium polykrikoides、7月中旬からKarenia mikimotoによる赤潮が発生し、魚類養殖業に被害が発生した。 スジアラ種苗を合計68,000尾取り上げ 7月 40,000尾(平均全長43.2mm) 8月 28,000尾(平均全長48.6mm)			